

ID <sup>注1)</sup>	031131	公開レベル <sup>注1)</sup>	C	保管形式 <sup>注1)</sup>	紙	保管場所 <sup>注1)</sup>		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	---	---------------------	--	------	--

報告書名称 /調査名称	白神山地世界遺産地域の森林生態系保全のためのモニタリング手法の確立と外縁部の森林利用との調和を図るための森林管理に関する研究報告書（平成10～14年度）／白神山地櫛石山のアリ類	発行年月/報告年月	
		2004年	2月
		資料形式 <sup>注2)</sup>	報告書

調査機関	環境省自然環境局 東北地区自然保護事務所	委託機関	萩原康夫(昭和大学教養部生物学教室)
------	----------------------	------	--------------------

調査開始年	1999年	10月	調査期間	1999年	10月	～	1999年	10月
-------	-------	-----	------	-------	-----	---	-------	-----

調査頻度 <sup>注2)</sup>	—	調査時期 <sup>注2)</sup>	秋
---------------------	---	---------------------	---

モニタリング計画	2012年3月 策定	区分 <sup>注2)</sup>	ⅡB	大区分 <sup>注2)</sup>	2	小区分 <sup>注2)</sup>	(1)
----------	------------	-------------------	----	--------------------	---	--------------------	-----

調査箇所・範囲 <sup>注3)</sup>	目的・調査手法
------------------------	---------

核心地域     緩衝地域     周辺地域

GPS等の位置データあり

※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

■調査手法  
 1999年10月2～3日、2001年9月1日に櫛石山尾根部および櫛石山南斜面において実施した土壌動物調査の土壌試料からツルグレン装置で抽出されたアリ類を中心に、また、1999年10月2～3日に地表活動性の昆虫類を対象に櫛石山尾根部で実施したバイト式ピットフォールトラップ調査および2001年9月1日に櫛石山尾根部および櫛石山南斜面の2地点で実施したバイトトラップ調査の結果について述べたものである。  
 1999年のトラップ調査は、細田が使用した2種類のバイト(酢酸・エタノール・水の混合液と黒砂糖・日本酒等を煮込んだ糖蜜液)を口径6cm深さ8cmのプラスチックカップに各10個(計20個)入れ、林床に埋設し24時間設置した後カップ内の昆虫類を回収した。2001年のトラップ調査は、上記の糖蜜液を脱脂綿に含ませて林床に各地点10個設置し、1時間以上経過した後吸蜜にきた昆虫類を回収した。

結果概要 (スペースに収まるように入力してください)

今回の調査により櫛石山尾根部および南斜面の両調査地点より得られたアリは以下に示す4亜科13属15種であった。

白神山地のアリについては、赤石川流域から下山他が7種、十二湖および笹内川流域から阿部が11種、同じく福田他が17種、秋田県の藤里町周辺地域から萩原・久松が13種報告しており、これまでに合計23種が報告されている。

今回の1999年および2001年の調査は両年とも土壌動物一般を対象として調査時期および回数を設定していたため、アリ類の調査として十分なものとはいえないが、今回の調査から櫛石山尾根部および南斜面から15種のアリが確認された。その15種の内6種が白神山地において初記録であり、その結果これまでに白神山地で確認されたアリは合計で4亜科18属29種になる。

以下にコドラート毎に詳細を述べていく。

櫛石山南斜面では4亜科10属11種のアリが確認された。土壌サンプルから得られたアリではヒメハリアリ、カドフシアリの2種が、1999年と2001年の両年ともどのサブコドラートでも確認された。

また、2001年のトラップ調査ではシワクシケアリが10個中9個のトラップで確認された。

櫛石山尾根部では4亜科13属15種のアリが確認された。土壌サンプルから得られたアリはカドフシアリがどのサブコドラートでも確認され、次いでヒメハリアリが多く確認された。1999年のトラップ調査ではシワクシケアリがもっとも多く確認された。

両年の調査ともアリの巢外活動が減少していく初秋の時期に行われているが、櫛石山の南斜面および尾根部の両地点においてカドフシアリ、ヒメハリアリ、シワクシケアリが高頻度に確認されたことから、これら3種は当地域の優占種として考えるのが妥当であろう。

問い合わせ	環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635 ≪原本(データ)の帰属について≫
-------	---

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。  
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。  
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考